

「ひつじのやん まだまだよ

脚本・絵 片岡 直子

①

これは、みかんの木です。実がいっぱいなってるね。

——ぬまながら——

「ハペー」のへいしきせりやがやいてきて、

参考
参加型紙芝居
脚本に「だわらす観客と
やうとりしながら進める

②

「うれしいわ」「うれしいわね、食べられるかなあ。」

「うれしいわねよ、どうかなあ。」

「まだまだよ、すいぱんよ~

――②画面は残し、しがけ(みかん)をぬかる――だとある

――「あ、色がかわったわた。もつじゅわー。」

「まだまだよ、もつじゅわーと~

――しがけ(みかん)をぬかる――次の一――である

わあ、こんなにやれこになつたよ。

「もつじゅわーよ、おつじゅわー

「わーい、いただやめーす」

――しがけ(みかん)をぬかる――

あ、(もべもべ)たべこむねえ。

――②画面をぬかるながら

たべこむの、だれかなあ…

観客の答えを聞いてから、

観客に聞いてみる

舞台の横で
耳に手をあて聞きながら

③

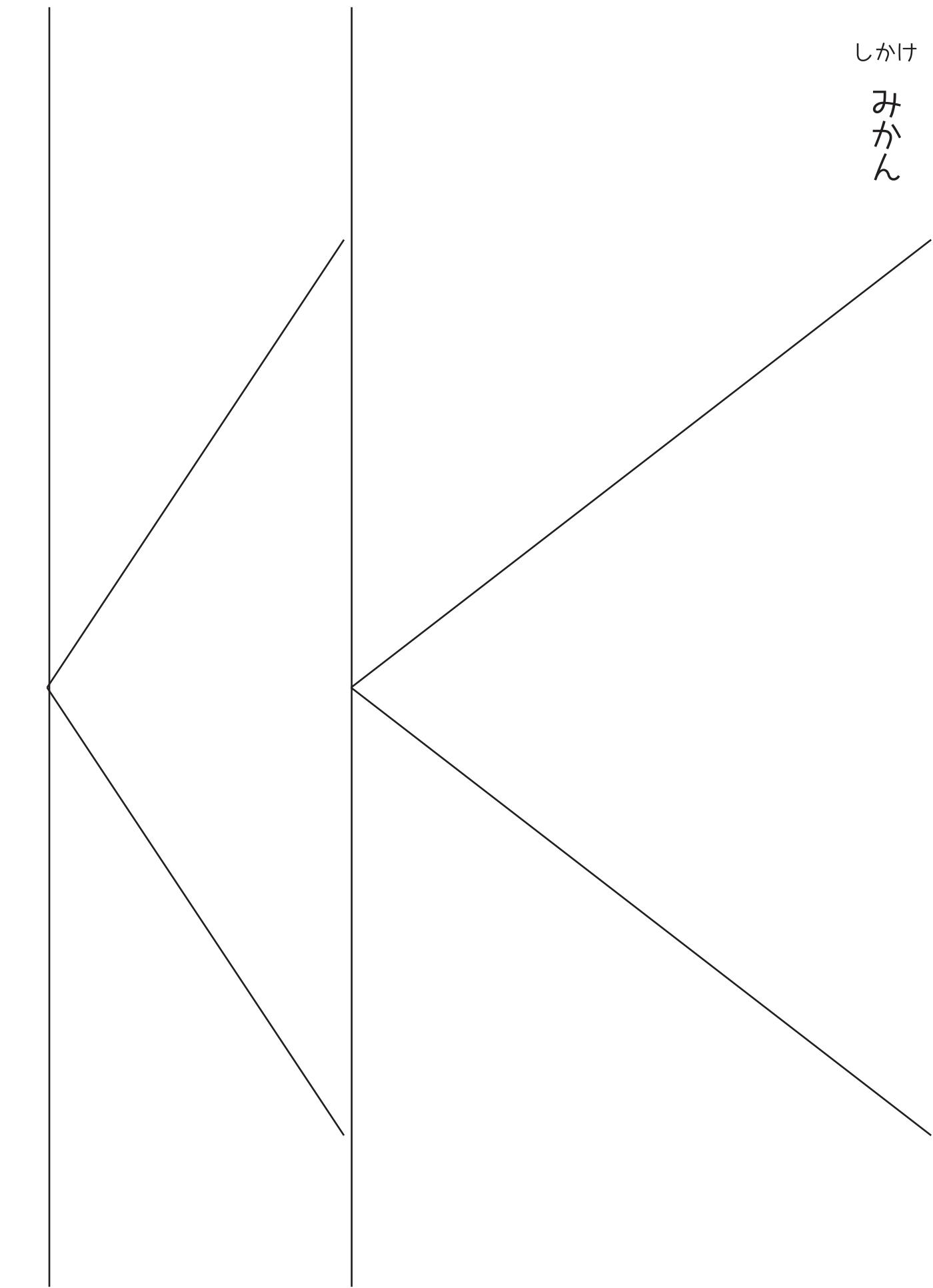
あー、かずくんだった。うやんと皮をむいてたべて
るね

やあ、次は、

——ぬぐ——

しあけ

み
か
ん



④

「もう少し、青つべがかな」

「んへんが言つしるよ。」

——④画面は残し、しがけ(りくご)をぬいて——でとめる

「あ、赤くなつてさた。もつたぐじう。」

(答をきいてから)

「まだまだよ、すいぱいよ~

——しがけ(りくご)をぬいて次の——でとめる

わあ、「んなにまつ赤になつた

~もつぶしよ、ねぶしよ~

「わーい、いただきまーす」

——しがけ(りくご)をたぐとぬく

(ぱくい)あ、食べたね。たべてゐのだ~れ?

——④画面を少し見せてたせ、あたつたら全部ぬく

太い声でゆっくり

観客に答えてやる

⑤

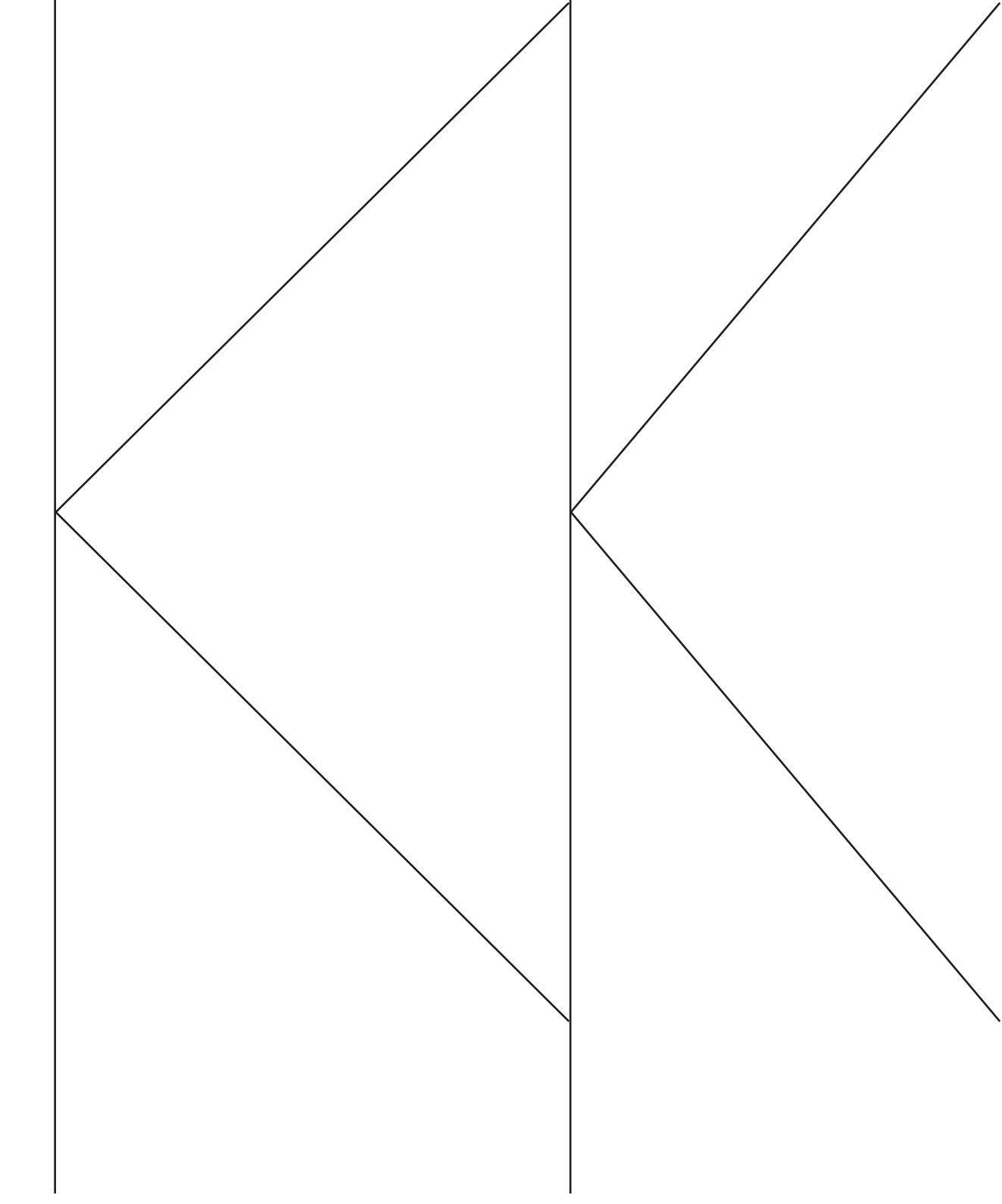
はい、くまやんでした。くまやん、リング大好きな
んだって。

さて次は…

—ぬく—

しあけ

りんご



⑥

「**れ**はカキの木だよ。青い実がなつてゐるよ。

「**れ**は「**べ**」**べ**く「**じ**」だよ。たぐりれるかなあ」

「**れ**は「**べ**」**べ**く「**じ**」**や**が言ひしんだよ。

(答を聞いてから)

「まだまだよ、**じ**らへて口がまがつちやつよ~

——しけけ**カキ**をゆつづぬいて——でとめる

あ、カキは葉っぱも赤くなるんだね。

——しけけ**カキ**を次の——まどぬごとある

「**わ**い、**わ**いかな、**れ**んなに赤いよ」

「**わ**い、**わ**いよ…

——しけけ**カキ**をたこげたこげでたつとなむかながら、

あつ、なくなりやつた。

——⑥画面をゆっくりめかしながら、

あれえ、ほり、ないない…

——⑥画面を全部ぬく

観客に答えてもひづ

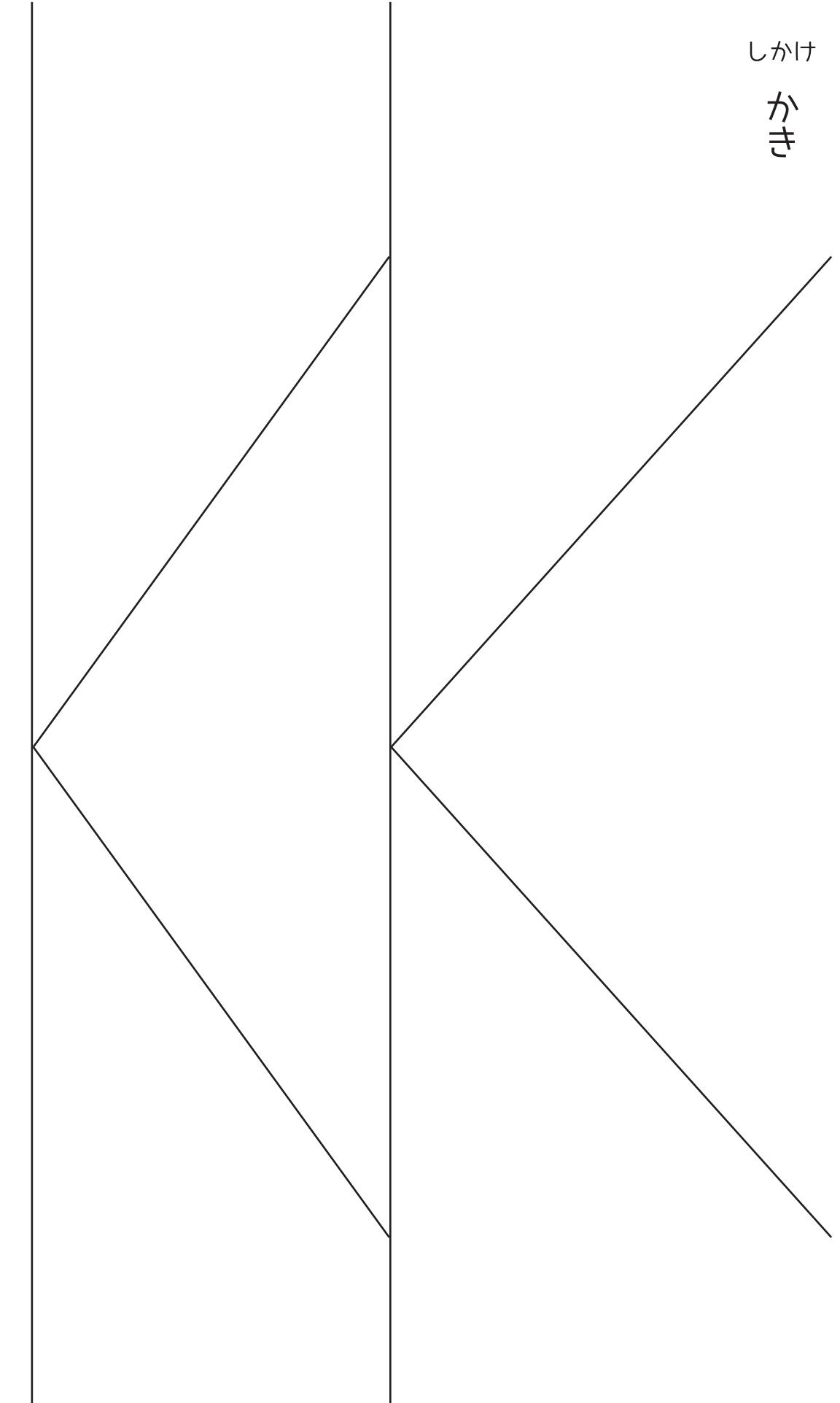
⑦

あーあ、カラスにとられちゃった。

——ぬく——

しあけ

かき



⑧

次は「れ、何の木だと思つて。」**バナナだね。**まだ青いよ。へいしんせつやん、おこしくなるまで待つてね。

——⑧画面は残し、しあげ**(バナナ1)**をぬいて——でとめる

ほーい…

(「バナナはそんな色じゃないよ」など観客が言つたら画面をみて、びっくりして見せ、)

あ、ほんとだ。バナナやん、おちがつてるよ。
すぐおじしいバナナあるからまつて、
それ、1、2、3

——しあげ**(バナナ1)**をたつとなく

ほーい、おこしくなつた。へいしんせつやん、おまかどおやけ。

高い声で

へいしんせつ 「わーい、いただきまーす」

——⑧画面は残し、しあげ**(バナナ2)**をたつとなく

あ、だれかがたべるのが見えるよ。

バナナの穴から下の絵が
見える。観客に答えても
うつ。

⑨

はい、おやじのやうだつたね。みんなでなかよく分け
てくわいいね。

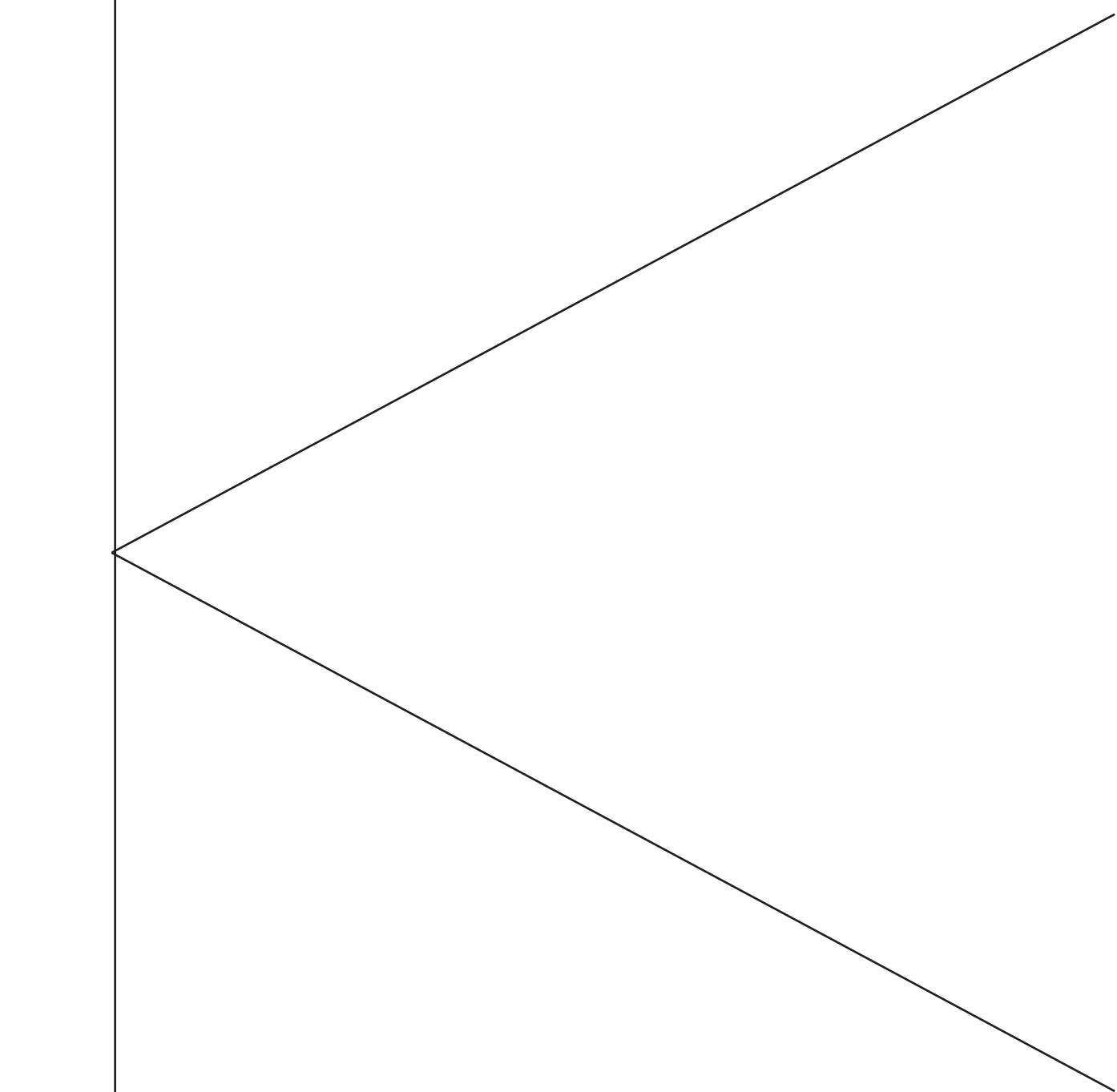
——ぬく——

しあけ

バ
ナ
ナ
1



1



しあけ

バ
ナ
ナ
2

10

次は煙に来たよ。『ジジ』も青い実がなつてゐるね。

「これは何だ」と想つて、

乃つ、トマト。何色になるんだつた?

今度はまだがんばないよ!」…

——⑩画面を残し、しがな(トマト)——までもうと
ある

「こんなに赤くなつてしまつた。

~もつこじよ、おこしきよ~

くらしへの「めつがとい」

——しがけ(トマト)がたつこね——

わ、お化子にてマトを食べられた。

——⑩画面を残しておこなへ——

あー、よかつた。おかげでサンドイッチを作ってくれ
たんだね。トマトおこしが。

じゃ、みんなでいただきまーす。

——ぬく——

しあけ

トマト

⑬ 12

みかんやコーン、かきやバナナやトマトが、きれいな赤やきいろになつて、おいしいくなるのは、おひさまの光のおかげなんだよ。

おひさまのエネルギーがいっぱい入つたから、みんな栄養まんじん、みんな、いっぱいべようね。おひさま、あつがとつ。

(おしまじ)